

# 土砂災害に備えて、大雨の時など避難の際に必用となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

## ①土砂災害警戒区域や避難場所を確認しておきましょう！

避難ルートを裏面の地図に記入しましょう！

・沖縄県や本部町役場のホームページからも確認できます。

★**沖縄県地図情報システム（土砂災害危険箇所）**

<http://gis.pref.okinawa.jp/pref-okinawa/top/>

★**本部町役場ホームページ（まちの防災マップ）**

<http://www.town.motobu.okinawa.jp/>



## ②雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報、警報等入手しましょう！

・まずは、テレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。

・雨が強くなってきたら、電話やインターネットでも確認しましょう。

★**沖縄气象台（天気相談所）**

電話：098-833-4290（平日：9時～17時）

★**沖縄气象台（ホームページ）**

<http://www.jma-net.go.jp/okinawa/>

★**沖縄防災情報ポータル（ホームページ）**

<http://www.bousai.okinawa.jp/>

★**气象台 土砂災害警戒情報（ホームページ）**

<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>



## ③前兆現象を見つけたら、直ちに役場(0980-47-2101)、消防署(47-7119)、警察署(47-4110)、※公民館( )などに連絡しましょう！

### ★土砂災害の種類

### ★前兆現象

<p><b>土石流</b></p>	<p>・山鳴りがする。</p>	<p>・川の水がにごり、倒れた木が流れてくる。</p>	<p>・川の水が減る。異常なおおいがする。</p>
<p><b>地すべり</b></p>	<p>・地面にひびわれができる。</p>	<p>・地面がひびわれ湧水が出る。</p>	<p>・井戸水が濁る。</p>
<p><b>がけ崩れ</b></p>	<p>・がけから急に水がわき出る。</p>	<p>・がけにひびわれができる。</p>	<p>・がけから小石がバラバラ落ちてくる。</p>

資料提供：NPO法人 土砂災害防止広報センター

## ④避難勧告などが発令された場合は、直ちに避難しましょう！

★「避難準備情報」が発令された場合

家族との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始してください。

※非常用持出品とは、貴重品類（現金、通帳、保険証など）、避難用具（懐中電灯、携帯ラジオなど）、生活用品（毛布、ライター、携帯用トイレなど）、救急用品（救急箱、処方箋、生理用品など）、非常食品（乾パン、飲料水など最低3日分）衣料品（上着、下着、雨具など）、その他。



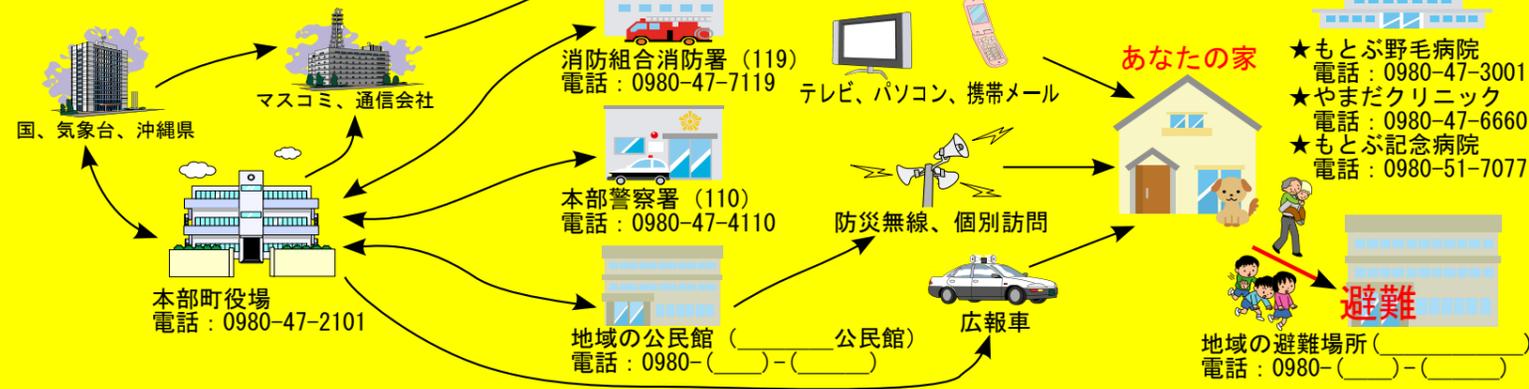
★「避難勧告」が発令された場合

避難場所等への避難行動を開始してください（裏面の地図）。

★「避難指示」が発令された場合

避難していない場合は、避難行動に移るとともに、避難場所への避難が困難な場合は、周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難するなど、生命を守る最低限の行動をしてください。

## ⑤避難勧告などの情報伝達経路



## ⑥特別警報

特別警報は、警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起こるおそれ著しく大きい場合に発表されます。特別警報が発表されたら、身を守るために最善を尽くしてください。

- 経験したことのないような激しい豪雨や暴風など異常な気象現象が起きそうな状況です。ただちに命を守る行動をとってください。
- 周囲の状況や市町村から発表される避難勧告等の情報に留意し、ただちに避難所へ避難するか、すでに外出することが危険な状態のときは、無理をせず家の中のより安全な場所にとどまってください。
- この数十年間災害の経験がない地域でも、災害の可能性が高まっています。油断しないでください。

※ 大雨注意報 → 大雨警報（土砂災害） → 土砂災害警戒情報 → 大雨特別警報 の順に発表されます。

## ⑦家族などと連絡がとれない場合

★N T T災害伝言ダイヤルの活用（忘れてイナイ）

地震や豪雨などによる災害が発生し、電話がかかりにくい場合の安否確認の伝言を登録できるサービスです。局番なしの「171」をダイヤル後、ガイダンスに従ってご利用ください。携帯電話からも利用できます。